

病害虫防除所情報 第1号

令和5年6月23日
山梨県病害虫防除所

【ブドウ黒とう病の防除対策について】

〔発生状況及び今後の見通し〕

1. 6月中旬の巡回調査では、県内各地のほ場でシャインマスカットを中心に新梢や葉に黒とう病の発生が確認された。また、各地区の病害虫防除員からの報告でも、黒とう病の多発生が報告されている。
2. 気象庁6月22日発表の1か月予報（6月24日～7月23日までの天候見通し）によると、期間のはじめは晴れる日もあるが、その後は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多い見込みである。向こう1か月の気温は高い見込み、降水量及び日照時間はほぼ平年並の見込みである。
3. 降雨により感染が拡大する恐れがあるため、以下の防除対策を徹底する。

〔防除対策〕

1. 管理作業と合わせて発病の有無を確認する。発病した新梢や葉は伝染源となるため、見つけ次第取り除き、ほ場から持ち出して処分する。
2. 防除暦に従い、定期的防除を徹底する。本病は雨水によって伝染するため、散布予定日に降雨が予想される場合は、散布を延期せず降雨前に散布する。また、薬液散布量を遵守する。
3. シャインマスカットなど、本病に弱い品種は特に観察を怠らず早期防除に努める。
4. 柔らかい葉は本病に感染しやすいため、新梢先端や副梢、徒長枝にも十分農薬がかかるように散布する。
5. 追加散布としてフルーツセイバー1,500倍（収穫7日前まで・使用回数3回まで）を散布する。



図1 中央部が灰白色に陥没した新梢の病斑



図2 円形黒褐色の葉の病斑